

Nihon Ongaku Shudan (Pro Musica Nipponia)

日本音楽集団

第113回◆定期演奏会

三味線・琵琶・胡弓
抱える楽器のおもしろさ

1990年4月26日(木) 午後7時開演
バリオ・ホール

主催 / 日本音楽集団・現代邦楽協議会

日本音楽集団 TEL 03-378-4741

〒151 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝川ビル302

ごあいさつ

本日は、御来場いただきましてありがとうございました。

日本音楽集団は、昭和39年創立以来、新しい邦楽の可能性を求めて様々な活動を積み重ねて参りました。抱える楽器—三味線、琵琶、胡弓—。共鳴胴から細長い棹（琵琶では頸）に張った絃を奏することでは共通ですが、その絃の数、奏法、抱え方、音色等、多くの点で異なっています。

今回はこの抱える楽器を中心に、日本音楽集団ならではの楽器の組み合わせの曲をおおくりいたします。最後までごゆっくりお楽しみ下さいませ。

プログラム

1. 明 鏡

杵屋正邦 作曲

〔三味線〕 工藤 哲子

〔尺 八〕 水川 寿也

箏、三味線、胡弓による「三曲」合奏において、尺八が胡弓に代って用いられるようになってから今日まで、尺八の合奏は箏曲系の楽器や奏者によるものが、自然で融合しやすいと考えられ、尺八と三味線との合奏曲は現代邦楽においても多いとはいえません。

この曲は、尺八本曲においての間合いや呼吸法と三味線音楽のそれらが相似することに着目し、尺八と三味線の組み合わせの新しい可能性を意図して作曲されました。

銅鏡、水鏡…。いろんな鏡があるけれど…、互いに照し映し合い、そして万華鏡のように一つの模様を展開させていく鏡をイメージしています。
(工藤哲子)

2. 阿 呷

畦地慶司 作曲

〔胡 弓〕 畦地 慶司

〔細 棹〕 野口美恵子

「阿呷」とは、所謂阿呷の呼吸だけではなく、生まれる瞬間に発する呼吸と死ぬ時に息を吐いて口を結ぶことをも譬えている。従ってこの言葉は、生命を得て生きている時間のことをさしているとも受け取れる。ここではそんなに大袈裟な意味ではないが、無の静寂から音が始まり絡みあって高ぶり、実を結ぶかどうかして無へ消えていく……そんなポーズを胡弓と三絃の世界で考えてみた。

(畦地慶司)

3. 夜の炎

牧野由多可 作曲

〔琵琶〕 半田 淳子

〔 箏 〕 内藤 洋子

…夜…暗…無の世界に一人でいると、心の中に様々な妄念が湧いてくる。それは美しい幻想かと思うと、突然恐しい残酷な増悪に変わり、狂おしい忘我のものとなる。やがて風が吹き、炎は透明な青い炎となって、夜明けの風とともに、美しい女が舞っている。この曲は、半田淳子委嘱によって書いた一編の幻想的な詩曲である。(牧野由多可プログラムノートより)

平家物語の「小督」のテキストを用いて、琵琶に箏のデュエットを試みた経験から、この二つの楽器の音色は、互いに呼び合いとけ合うものがあると思っていた。琵琶のもつ衷調を帯びた余韻に華麗さが加わり、鮮烈な表現が効果的に出せるような気がした。けれどもこの楽器の組み合わせは、あるようで意外になかった。牧野由多可氏に御願いしてできた情熱的で華麗な曲である。
(半田淳子)

4. 九絃の曲

本間貞史 作曲

〔細 棹〕 太田 幸子
〔中 棹〕 花房はるえ
〔太 棹〕 坂井 敏子

1979年文化庁芸術祭・ラジオ部門・音楽の部参加作品。長唄の細棹、地歌の中棹、義太夫の太棹という、非常に音色の違う三種類の三味線の為の三味線三重奏曲。三味線同士の合奏曲というと、同種の三味線による二重奏曲・三重奏曲は比較的多いように思われるが、違う種類の三味線による合奏曲は、大変稀で貴重な作品の一つといえる。作曲の本間貞史氏は、1972年東京芸術大学の作曲科を卒業、管絃楽曲、歌曲等の作曲にあたりと共に、日本の伝統音楽を現代に生かす事に、意欲的な作曲家。この「九絃の曲」も三味線の伝統的奏曲に近い、あまり無理のない奏法の中で、三声的音楽のおもしろさが味わえるよう、作られている。本日の演奏で、三挺九絃の音のやりとりを楽しんで頂ければ……
(太田幸子)

5. 日本楽器による幻想曲

長沢勝俊 作曲

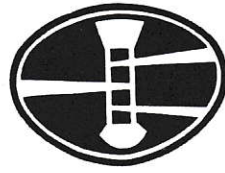
〔琵琶〕 田原 順子
〔尺 八〕 藤崎 重康・米澤 浩・添川 浩史
〔 箏 〕 吉村 七重・木村 玲子
〔十七絃〕 熊澤栄利子

NHK邦楽技能者育成会、第19期(昭49)卒業演奏曲(NHK委嘱)としてかかれた曲です。導入部の琵琶ソロ、それに導かれてはじまる尺八、またそれをひきつぐ箏、と、どれもシンプルで心にのこるメロディがつづき、次第に尺八、箏の合奏へとうつつてゆきます。やがて琵琶の八分音符のきざみにのせて、尺八と箏の音が美しくちりばめられ、後半は箏の音にのせて尺八がゆったりとしたメロディをうたい、再び箏のテーマにもどり、琵琶のソロでしめくくられます。

これまでも何度かこの曲を演奏する機会をもつことができましたが、いつも、シンプルゆえのむつかしさを痛感したものです。
(田原順子)

お知らせ

6月30日(土)NHKFMラジオ「現代の日本の音楽」(午後2時~2時55分)の時間に
笛と打楽器を特集した第112回定期演奏会の中から、秋岸寛久作曲「撃壤歌」、三木稔
作曲「擣」、阿部彰義作曲「FOREVER ELEPHANTS」、長沢勝俊作曲「風流変容」
が放送されます。どうぞおききくださいませ。



三絃

伝統に便利さを加えて

琴光堂和楽器店

〒152 東京都目黒区碑文谷二一九-15

☎ (03) 7921-8481

FAX (03) 7921-8437

祝

創立25周年



アイ・エム・エス

●楽器リース●保管●移動●ステージ・スタッフ派遣

〒167 東京都杉並区上荻 2-21-25

オリオンシャトー1F

PHONE. 03-397-2292